

大口需要電力実績(9月)

144,394千kwh(前年同月比0.1%減)と5か月ぶりに前年を下回ったが、鉱工業はパルプ・紙等で増となり1.1%増加した。

青果物卸売量(10月、鳥取市場)

野菜が1,767t(前年同月比1.7%増)と12か月ぶりに前年を上回り、果実は1,075t(前年同月比8.4%減)と5か月続いて前年を下回った。

漁獲量(10月、境港)

15,409t(前年同月比49.4%増)と3か月続いて前年を上回った。

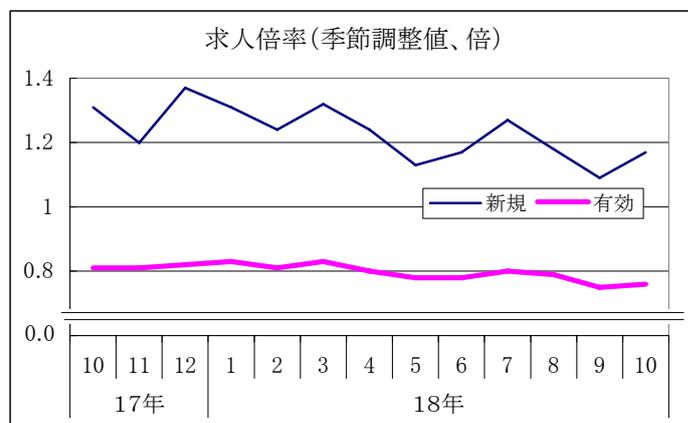
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(10月)

1.17倍(前月差0.08ポイント上昇、前年同月差0.14ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、4,410人で前年同月比8.9%の減であった。

有効求人倍率(10月)

0.76倍(前月差0.01ポイント上昇、前年同月差0.05ポイント低下)と8年8か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(9月)

252,865円(前年同月比0.8%減)と3か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、250,866円で3か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(9月)

9.4時間(前年同月比8.0%増)と2か月続いて前年を上回った。主力の製造業は4.3%増となった。実数による前年同月比では、教育、学習支援業(前年同月比62.9%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比33.3%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(9月末)

預金残高は、1兆8,471億円(前年同月比0.9%増)と5か月ぶりに前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,654億円(前年同月比0.8%減)と13か月ぶりに前年を下回った。

○参考

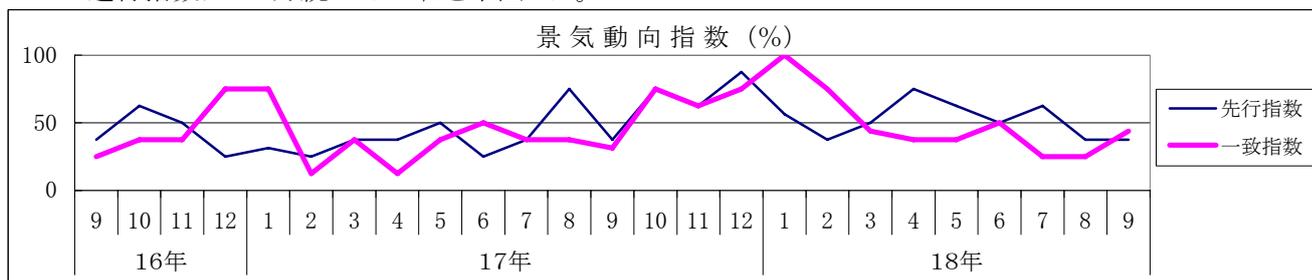
鳥取県景気動向指数(9月)

先行指数37.5%、一致指数43.8%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は2か月続いて50%を下回った。

一致指数は3か月続いて50%を下回った。

遅行指数は3か月続いて50%を下回った。



企業倒産(10月)

件数は6件(前年同月比50.0%増)で2か月続いて前年を上回り、負債総額も11億3,600万円(前年同月比61.1%増)で3か月続いて前年を上回った。

消費者物価指数(10月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.7となり、前月比(0.2%上昇)は2か月ぶりに上昇し、前年同月比(0.4%下落)は2か月続いて下落した。

鳥取県の推計人口(11月1日現在)

603,994人で、前月と比べて7人(0.00%)増加し、前年同月と比べて2,954人(0.49%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成18年11月調査)

平成19年1~3月期は、平成18年10~12月期に比べると景気、売上高、経常利益のすべてで不調となる見通しとなっている。